

親子で学ぶ航空無線

10月11日、北海道総合通信局は、航空自衛隊千歳基地で「親子で学ぶ航空無線教室」を開催しました。千歳市などの親子15組31人が楽しく千歳空港の歴史、航空無線の働きや大切さについて学びました。

特別に入れてもらった私語厳禁の航空管制室では、航空機を誘導する様子を緊張した面持ちで見学。レーダー管制室では、空港から約90km圏内の全航空機の飛行状況を無線で監視していることを教えてもらいました。

新千歳空港では、国土交通省に届けられた飛行ルートを通る航空機が安全に離着陸できるよう、地上無線と管制塔からの無線で誘導しています。

パイロットになると目を輝かせる児童、管制官になりたいとはにかむ児童など、この教室に参加して将来の夢が広がりました。



レーダー管制室では、実際に機器に触れてみたよ



地上の9倍もの重力に耐えられるF-15Jのパイロットから詳しく航空無線について教えてもらい、最後に握手も



裏表紙：千歳管制塔と政府専用機（航空自衛隊千歳基地提供）

教室



現在活躍中のF-15J EAGLE。様々な航空無線を備えている



救難機UH-60J(表紙とも)のcockピット
時速280kmで救助にきてくれる



千歳基地で、1960年代に活躍したF-86D